

安全保障理事会議長声明

「ソマリア情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年12月3日に開催された安全保障理事会第6229回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、罪のない一般市民およびソマリアの保健大臣、高等教育大臣、教育大臣の死をもたらした、12月3日のモガディシュにおけるベナディール大学のソマリア医学生の卒業式でのテロリストの攻撃を最も強い言い方で非難する。このことは、ソマリア国民のために平和的、安定的かつ繁栄する未来の構築に専念している人々に対する犯罪的な攻撃である。

安全保障理事会は、攻撃で殺害された人々の家族および負傷した人々、ならびに暫定連邦政府およびソマリア国民に対し安保理の深い同情と弔慰を表明する。

安全保障理事会は、徹底した捜査がなされ、この攻撃を行ったものが敏速に訴追されることを促す。

安全保障理事会は、和平および和解の探求をしているソマリアの国民およびソマリアにおける合法的な権力機関である暫定連邦政府を支援し続ける安保理の決意を強調し、ソマリアにおける恒久的な政治的解決へ到達するための枠組を提供しているジブチ和平プロセスに対する安保理の完全な支援をくり返し表明する。

安全保障理事会は、全ての対立する集団が直ちに攻撃を止め、武器を捨て、暴力を否定しそして和解の取組に加わるという安保理の要求を再確認する。安保理は、全ての当事者に対し国際人道法の下での、とりわけ一般市民、人道活動およびAMISOM要員の安全を守るための彼らの義務を守ることを更に求める。

安全保障理事会は、攻撃の犠牲者およびその親戚を支えたAMISOMの活動を歓迎する。安保理は、AMISOMに対する安保理の強い支援をくり返し表明しまたウガンダおよびブルンジ政府による部隊の公約に対し安保理の続いている感謝の意を表明する。

安全保障理事会は、ソマリアの長期間の平和は、ジブチ協定の枠組内でのまた国家治安戦略に一致した、国家治安軍のTFGとソマリア警察軍による効果的な開発にかかっていることを再確認する。安保理は、国際的なコミュニティに対して、AMISOMと調整して、ソマリアの治安制度を訓練および装備を含んで支援することを、促す。